

学校教育目標	ふるさとに学び ふるさとで遊び ふるさを愛する 鴨志田緑の子 ~ ふれあい かがやき 豊かな心 ~ ○ 基礎的・基本的な学力を身につけ、共に学び合う力を育てます。(知) ○ 自分や人のよさを認めて共に成長する、豊かな心を育てます。(徳) ○ 健やかな心と体を鍛え、たくましく生きる力を育てます。(体) ○ 「ふるさと」を愛し、人・自然・まちと協働する力を育てます。(公) ○ 様々な人とのコミュニケーションを通し、共生する力を育てます。(開)				
	創立 41 周年 児童生徒数: 360 人	学校長 杉山 波也 主な関係校: 鴨志田中学校 鴨志田第一小学校	副校長 土井 茂	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 4

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	鴨志田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<伝え合いながら、問題解決する力> <自他の良さを認め合い心豊かに生きる力> <人と学ぶ・人に学ぶ・自ら学ぶ力>	鴨志田中学校  鴨志田第一小学校  鴨志田緑小学校	「伝え合い、学び合う力を育み、9年間の学習に主体的に取り組むことができる子ども」「互いを認め合う豊かな心をもった子ども」「運動に楽しく取り組み、健やかな体をはぐくもうとする子ども」「地域に貢献できる子ども」  ・ブロック内小中合同授業研究テーマに基づく授業研(意見交換会・年2回) ・ブロック内各部会(児童生徒指導・特別支援教育・児童生徒会・学校保健委員会)における情報交換・共有の充実と実践 ・ブロック3校での地域連携の深化

中期取組目標	○ 豊かなふれあいを大切にしながら、だれもが安心して笑顔で過ごせる学校をめざします。 ・一人ひとりが自分の考えをもち、伝え合うことを通して学び合う楽しさを実感し、自尊感情を高めることができる授業づくりを推進します。 ・人とのかかわり合いの中で、互いを認め、思いを伝え合うことのできる豊かなコミュニケーション能力の育成を図ります。 ・地域とのつながりを活かした教育活動を進める中で、ふるさとを大切に思う心を育てます。 ・児童が安心して学校生活が送れるよう、丁寧な児童理解に努め、組織的に児童支援・児童指導を行います。 ・教職員の人材育成を通して、「チーム鴨志田緑」の組織力向上を図り、連携・協働しながら、学校教育目標の実現へ向け取り組みます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>知</b> 生きてはたらく知 担当 重点研推進委員会	①研究主題を「ともに関わり学び合いながら、自分を高める子の育成」とし、様々な教科・領域において、切実感をもち、友だちと話し合いながら、問題解決していく授業を目指し、資質・能力の育成に取り組む。②タブレット端末を活用し、見方・考え方を広げたりコミュニケーション力を伸ばしたりする。
<b>徳</b> 豊かな心 担当 道徳推進教諭	①「特別の教科 道徳」を豊かな心の育成の中核ととらえ、価値把握の理解や振り返りの充実を図り、学習中に考えたことを自分事として、日常的な実践につなげられるようにする。②KFT(縦割り活動)をはじめ、各学年の実態に応じた人権福祉教育を行い、子どもの自尊感情や自他を大切にすることを育む。
<b>体</b> 健やかな体 担当 体育部	①一校一実践の体力アップ(持久走)を児童が主体的に取り組むことができるように計画を立てていく。体力の向上と運動に慣れ親しむ資質・能力を育む。②学校保健委員を中心に心と体の健康の重要性を学び、全校児童に発信することで自他を大切にすることを育む。③保健・体育の授業と食育の推進を図る。
<b>公開</b> 異学年交流 担当 児童支援専任	①4~6年生がKFT中休みの企画・運営を担うことで6年生だけではなく4・5年生も異学年交流のリーダーとしての役割や責任を自覚して活動できるようにしていく。②めあてを意識して活動に参加し、達成感や満足感をもてるようにする。③ペア学年による交流を積極的に実施し、学校全体での温かい人間関係の構築を推進する。
<b>特別支援教育</b> 担当 特別支援委員会	①校内支援体制に基づき、支援や配慮を要する児童のニーズに応じた指導・支援を保護者と連携して進める。②個別の教育支援計画・個別の指導計画を振り返り時間を年間行事予定に入れ、より必要とされる支援ができるようにする。③特別支援教育や合理的配慮等に関する研修を行い、特別支援教育の理解を深め、充実を図る。
<b>地域連携                  学校運営協議会</b> 担当 地域連携担当	①2年生以上の学年が取り組む農園活動など、本校の特色である「地域とのつながり」を大切にしながら各ボランティアとの連携を図り、子どもたちの学習活動をさらに豊かにしていく。②学校運営協議会とともに、学校・家庭・地域が一体となった学校運営を目指す。
<b>安全管理</b> 担当 防災安全部	①防災訓練では、スタンダードを基に、基本的な身の守り方・避難の仕方を確実に身に付けさせると共に、起こり得る様々な場面を想定し、状況に応じて適切な避難行動を取る力を養う。②校内の安全点検を定期的に行ったり物品の管理の仕方に気を配ったりし、安全な環境を整える。
<b>いじめへの対応</b> 担当 児童指導部	①早期にいじめに関する研修を行い学校全体で未然防止・早期発見・早期対応に取り組む。②YPーアセスメントシートと指導プログラムを活用し子どもの社会的スキルの育成を図る。③記名式いじめアンケートを学校全体で共有し見守り体制を充実させる。個人面談でより確実に未然防止・早期発見・早期対応ができるようにする。
<b>児童指導</b> 担当 児童指導部	①高学年の教科担任制、低学年の授業・活動交換等をより一層推進し多角的な児童理解に努める。②児童指導に関する校内研修を行い児童理解スキルを高めていく。③週に一回、児童指導・児童支援について全体共有の場を設け、学校全体での見守り体制を充実させる。
<b>人材育成                  組織運営(働き方改革)</b> 担当 教務部	①学校の実態や職員のニーズに合わせた内容で、充実した研修を行う。さまざまな経験年数の職員が主体的に参加し、疑問や意見を共有しながら教師力向上をめざす。②学校評価を活かして、業務の明瞭化・効率化をさらに図る。